



みんなが楽しく生活できる学校にしよう!

ハートフルコーナー

8・9月号

下館西中学校人権教育部

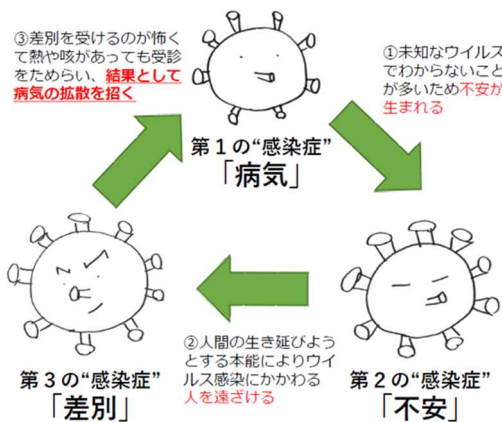


新型コロナウイルス感染症に関連した人権尊重への願い



新型コロナウイルス感染症は、新型病原体ということもあり不明なことが多く、誰もが感染し、広げてしまう可能性があることや重症化することがあるため、私たちは、大きな不安を抱きながら日常生活を送ることを余儀なくされています。現在、密集、密接、密閉といういわゆる「3密」を避ける新しい生活様式が求められており、一人ひとりが感染のリスクを理解し、想像力を働かせながら危険を避ける行動をとっていくとともに、社会全体としての連携と協力が必要です。こうした状況のなか、感染された方やそのご家族、濃厚接触者に対する偏見や蔑視、医療・介護関係者に対する誹謗中傷等があったことが報道されています。仮に事実であるとすれば、極めて残念なことです。**感染は誰にでも起こり得ます。**正確な情報に基づき、冷静な対応をとることが何よりも大切なことです。ついては、新型コロナウイルス感染症の早期収束を願うとともに、併せて、市民と市が丸となり、新型コロナウイルス感染症に関わる全ての方々の人権が尊重されることを願います。

令和2年8月11日 筑西市長より



この感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることで

それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう!



9/21(月)は敬老の日

9月は「敬老の日」があります。「多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う。」ことを趣旨として制定されました。もともとは9月15日でした。平成15年から9月の第3月曜日に変更されました。皆さんの周りには、たくさんのおじいさん・おばあさんがいますね。一緒に暮らしている人もいることでしょう。「敬老の日」を通して、改めておじいさん・おばあさんに感謝し、言葉や行動に表してみるといいですね。

人権コラム ~笑顔あふれる幸齢社会へ~

夏休みのある日、小学5年生の息子とスーパーに買い物に行くと、息子が私の知らない男性とニコニコして話をしています。「さっき話していたおじいちゃんは誰?」と聞くと、毎朝、通学路に立ち、子どもたちの安全を見守ってくださっている交通指導員の方だと分かりました。子どもたちが地域とつながり、地域の中で守られていると感じ、感謝の気持ちと、ホッと安心するような気持ちになりました。「高齢社会」となり、体が衰え、認知症などの状態にある高齢者が増えています。高齢者を虐待したり、財産をだまし取ったりするなどの高齢者の尊厳を否定する事件や、一人暮らしの高齢者が孤独死する悲しい事件が毎日のように報道されています。幸せに歳を重ねたいと誰もが願っています。誰もが「長生きしてよかった」と思える社会にするにはどうしたらいいのでしょうか?生きがいを持って、健康で長生きする高齢者がどんどん社会に参画していき、地域の高齢者が地域の子どもたちを見守り、地域社会を支える力になってほしいと思います。そして、若い世代は、高齢者に支えられていることを忘れてはいけません。年齢に関係なく、生きがいを持って働き、スポーツや趣味に挑戦し、おしゃれも楽しめる、そういうそれぞれの個性が尊重される笑顔のあふれる「幸齢社会」にしたいものですね。

大分県生活環境部 人権啓発コラムより